

川崎市立川崎病院
令和 6 年度第 2 回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 令和 6 年 8 月 27 日（火）13 時 30 分～14 時 00 分

2 開催場所 川崎病院 7 階講堂

3 出席者

（1）委 員

古川 智洋（委員長）	川崎区医師会会長
大塚 宏之（副委員長）	川崎市医師会理事
今井 雅文	川崎区歯科医師会会長
小林 英之	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会会長
田中 充裕	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会
八木 美智子	川崎市看護協会常務理事
砂川 康弘	川崎市健康福祉局保健医療政策部
若尾 勇	川崎区役所地域みまもり支援センター副所長
小川 晶	川崎市消防局川崎消防署長

（2）川崎病院

野崎 博之	病院長
澤藤 誠	副院長兼患者総合サポートセンター所長
藤原 実香	看護部看護部長
田熊 清継	救命救急センター所長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
小林 加寿夫	薬剤部長
池本 孝司	放射線診断科担当課長
瀬川 裕	事務局長
伊藤 猛	事務局庶務課長
酒井 俊明	事務局医事課長
高橋 智常	患者総合サポートセンター副所長
舘山 奈緒子	患者総合サポートセンター担当課長
藤平 高志	患者総合サポートセンター担当課長

4 資 料

資料 1	紹介率・逆紹介率について
資料 2	緊急受診・転院依頼応需状況について
資料 3	医療機器共同利用予約受付件数について
資料 4	P E T－C T運用実績について

- 資料 5-1 地域の医療従事者を対象とした研修について（医師）
資料 5-2 地域の医療従事者を対象とした研修について（看護師）
資料 6 連携登録医の登録状況等について
資料 7 市民公開講座について
その他資料

前回運営委員会会議録

令和 6 年度川崎市立川崎病院地域連携の会の報告書

2024 年度診療のご案内

地域医療連携便り V o 1 . 4 2

5 議 事

- （１）開 会（司会進行 高橋患者総合サポートセンター副所長 （３）まで）
司会挨拶

- ・会議公開の確認
- ・委員全員の同意により公開。傍聴希望者なし。

- （２）病院長あいさつ
（野崎病院長）

8 月初めの日向灘での地震のあとには南海トラフ地震の注意情報が出た。川崎市も震度 6 弱の想定になっており、また、地震があれば津波の危険性が生まれるので、その際のトリアージェリアをどうするかなど、考えていかななくてはならないと思った。病院設備も災害のアナウンスがあったときにきちんと点検をしてみると意外と漏れがあったりすることもあるので、点検をするいい機会にはなったのかなと考えている。当院は地域医療支援病院であり、災害拠点病院として川崎市の中でもある程度やっていかななくてはならないので、常々色々な準備をしていこうと思っている。本日は現在の状況を報告させていただいて、皆様の忌憚なきご意見をいただきたい。

- （３）委嘱状交付

委員の交代により、新たに委員となった川崎区連合町内会の山田義孝様に委員をお願いをする。本日から 2 年間の任期。

委嘱状は机上交付。

ご挨拶をいただく予定だったが本日は欠席。

（委員自己紹介）

前回出席していなかった出席委員より自己紹介。

- ・小林由紀子委員
- ・砂川康弘委員

（古川委員長による進行）

- （４）議事録署名人選出

川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要なため、委員会開催の都度、委員長が指名。古川委員長が小林英之委員を指名し、小林委員の承諾により議事録署名人となる。

(5) 議 題

議題1 紹介率・逆紹介率について

(澤藤副院長)

- ・令和6年度の4月から6月の紹介患者数3,302人、逆紹介患者数4,446人、初診患者の数4,288人。紹介率は77%、逆紹介率は103.6%となっている。紹介率、逆紹介率は地域医療支援病院の承認要件は満たしている。追加で説明させていただくと、下に令和5年の1年分の結果が出ているが、紹介患者数が1年間で12,391人、月平均すると1,033人となっている。紹介患者さんの数を増やすのは当院の目標であり、特に最近、月の平均を1,000人上回るというのは内内の目標であったのだが、年間を通して達成できたのは去年が初めてだった。紹介率は去年75%となっているが、紹介率70%を超えたのは去年が初めてだった。そのようなことから、少しずつ地域のほかの医療機関と患者さんとのやり取り、受け渡しということが出来てきているのかなと思っている。

議題2 緊急受診・転院（転入）応需状況について

(澤藤副院長)

- ・令和6年度の緊急受診依頼に対する応需率は、4月72.1%、5月70.3%、6月74.3%で3か月平均は72.2%。転院（転入）は全例受け入れることができた。当日の緊急受診の応需率は中期的な目標として、80%台に挙げていきたいという目標があるのだが、70%台が続いている。

(古川委員長)

- ・応需できないというのは具体的にはどういうときですか？

(澤藤副院長)

- ・患者さんの状況にもよるのだが、受け入れるベッドの問題と、依頼のあった科によっては人数が少なく、手術に入っているので受け入れられない、などが多い。

(古川委員長)

- ・わかりました。80%まで頑張ってください。

(澤藤副院長)

- ・努力したいと思います。

議題3 医療機器共同利用予約受付件数について

(藤平担当課長)

- ・6年度4月から6月の10の検査項目等に対しての医療機器共同受付け予約数は、3か月の合計で157件。令和元年から令和5年度の5年間の平均受付件数は830.8件となっている。

(古川委員長)

- ・昨年度に比べて順調ということでよいか。

(藤平担当課長)

- ・昨年度は 190 件ほどあったので、若干下回っている状況ではある。

(古川委員長)

- ・特に大きな障害があるわけではない？

(藤平担当課長)

- ・特に障害はない。

議題 4 PET-CT 運用実績について

(池本担当課長)

- ・令和 6 年度は 4 月が 116 件、5 月が 73 件、6 月が 95 件となっている。4 月はかなり多い。5 月は少し数が少なかった。おそらくゴールデンウィークの影響。当科の目標稼働実績は年 1100 件なので、こちらの 3 か月の月平均が 94.7 件というのは順調に検査を行えているのではと思っている。

(古川委員長)

- ・PET-CT が入って何年？

(池本担当課長)

- ・6 年です。

(古川委員長)

- ・6 年間の間に機器は更新されている？

(池本担当課長)

- ・まだ更新していない。12、3 年くらい使う。

(古川委員長)

- ・ソフトウェアをアップデートしているとか？

(池本担当課長)

- ・定期メンテナンスで簡単なソフトのバージョンアップはしているが、特に古くなっている状況ではない。

議題 5 地域の医療従事者を対象とした研修について

(藤平担当課長)

- ・令和 6 年度の地域の医療従事者を対象とした医師用の研修を、現在のところ、4 回実施することとなっていて、現在すでに 3 回を実施。合計 81 名の受講者があった。

(館山担当課長)

- ・地域の医療従事者を対象とした看護師用の研修について、前回は日程のみ決定しており、提示させていただいた。今回、研修内容と講師が決定し、詳細は資料に載せたので見ていただきたい。6 番のみ未定。1 番の 8 月 9 日地域ケア懇談会「便秘について考えませんか？」の会は実施を終了、ハイブリッド方式で受講者は会場に 66 名、WEB で 61 名、合計 127 名の受講者だった。

議題 6 連携登録医の登録状況等について

(藤平担当課長)

- ・令和 6 年 8 月 1 日現在で 608 の医療機関等に御登録をいただいている。医科は新規が 14 件、閉院し登録削除したクリニックが 3 件、歯科では新規の登録や登録の削除はなかった。

(古川委員長)

- ・港区、台東区、八王子市の連携登録医はそこから患者さんが送られてくるのか？

(藤平担当課長)

- ・送られてもくるし、こちらから送ることもある。

(古川委員長)

- ・それとところみクリニックみたいに特段この病院の先生との関係があったりするのですか。

(藤平担当課長)

- ・もともと中原区にクリニックがあり、そのグループとして、こちらのほうも登録したいというご相談があった。

(古川委員長)

- ・遠方の医療機関に対して連携するというのは、趣旨に合致しているのか。

(藤平課長)

- ・私共は南部の地域がメインというのは承知しているが、広く患者さんを受け入れ、また逆紹介するという点では合致していると考えている。

(古川委員長)

- ・野崎先生、どうですか。

(野崎病院長)

- ・TMS にしても、もともと川崎の小杉の TMS にあった関係だろうし、TMS そのものも当院ではできない治療なので、連携の必要があると考えられる。また、クリニックによっては川崎にある高齢者施設の問診医が遠方から来ているということもあり単に位置だけでなく、連携される必要がある、と理解している。

(古川委員長)

- ・そういったことならわかりました。地域医療の観点からも連携登録医の趣旨を逸脱しないようにしていただきたいと思う。

議題 7 市民公開講座について

(藤平担当課長)

- ・9 月 11 日水曜日に第 3 回を行います。第 3 回は泌尿器科の原医師による「泌尿器科腫瘍とロボット支援手術～患者さんに優しい医療をめざして～」をテーマで当院の講堂にて定員 60 名で開催する。現在ホームペー

ジ等で周知中。尚、第 2 回まで終了していて、第 1 回は 56 名、第 2 回は 65 名の参加があった。

その他について

(藤平担当課長)

- ・お手元に前回の会議録と 8 月 1 日に実施した令和 6 年度川崎市立川崎病院地域連携の会の報告書、2024 年度診療のご案内、地域医療連携便りを配布しているので後程ご確認いただきたい。
- ・次の開催は令和 6 年 11 月 19 日火曜日、本日と同じ 13 : 30 開催を予定している。

(古川委員長)

- ・予定の議題はすべて終了。

(司会を事務局へ返す。)

(9) 閉 会

(澤藤副院長)

毎日同じよう診療をつづけているようでも、少し長いレンジで患者さんの数などを見ると、少しずつだが地域の中で当院が本来求められている機能を果たす方向に向かっていると感じている。また、コロナの患者さんが増えたこの夏は川崎幸病院や中原、鶴見などの基幹病院、大学病院などからも受け入れを求められることが多々あり、規模の大きい病院も患者さんが増えると受け入れに難渋していたが、なるべくそういう時でも踏ん張って地域に貢献したいと思っているのでこれからもご意見をお寄せいただきたい。

以上